

## 外国人高度技能者の育成を推進 広島県鉄構工業会

### ベトナムの施設で専門教育



VINAYAMA STRUCTUREの  
溶接トレーニングセンター

広島県鉄構工業会（理事長）は、共済事業の一環として、ベトナム人技能実習生の受け入れと採用のサポート

として鉄骨加工分野の高度技能者育成コースを活用し、た外国人技能実習生の育成を推進。「アジアヒューマンライン協同組合」を通じてベトナム人技能実習生の受け入れと採用のサポート

が可能なレベル（N4）までの到達を目指す。今後はJIS溶接試験対策も予定しており、実習生の成績次第では教育期間の短縮も可能となる。

その後、同組合員でMグレードの山口製作所（安芸高田市向原町戸島、山口茂範社長）のベトナム現地法人・VINAYAMA STRUCTUREの溶接トレーニングセンターで半自動溶接やガス切断、工場内の工具の使用方法など溶接の専門知識を学ぶ傍ら、業務用の日本語教育を2カ月間受講する。



実習試験のようす

として鉄骨加工分野の高度技能者育成コースを活用し、た外国人技能実習生の育成を推進。「アジアヒューマンライン協同組合」を通じてベトナム人技能実習生の受け入れと採用のサポート

を行っている。高度技能者（鉄工作業・溶接工）育成コースの実習生は、専門学校で1年間の一般教養と工業系専門学校の日本語および溶接理論の教育を受ける。この段階で日本語による日常会話が可能レベル（N4）までの到達を目指す。今後はJIS溶接試験対策も予定しており、実習生の成績次第では教育期間の短縮も可能となる。

その後、同組合員でMグレードの山口製作所（安芸高田市向原町戸島、山口茂範社長）のベトナム現地法人・VINAYAMA STRUCTUREの溶接トレーニングセンターで半自動溶接やガス切断、工場内の工具の使用方法など溶接の専門知識を学ぶ傍ら、業務用の日本語教育を2カ月間受講する。

も実施する。コース全体の教育期間は1年8カ月、1年10カ月となっている。ファブ業界では現在、相当数の外国人技能実習生が就業しているが、語学力や専門技能が不足していることで日常業務と併行しながらの社内教育の手間やコストが大きな負担となっている。そこで同事業を活用することにより、高度技能を有する人材をローコストで確保することが可能となる。

広島県鉄構工業会は同事業の積極活用により業務に必要な能力を有する即戦力人材の確保を図るとともに、共済事業としての追加などを目指している。今春には組合員らが現地の専門学校や溶接トレーニングセンターなどを訪問し、人材育成の状況を視察した。